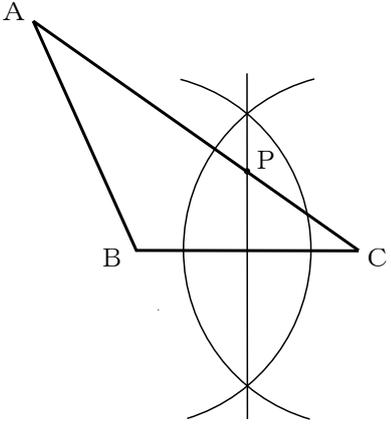


問題番号 配点	正 答 例	採点のポイント
<p>1</p> <p>〔問 9〕</p> <p>配点 6 点</p>		<p>○辺 BC の垂直二等分線を正確に引いている。</p> <p>○辺 BC の垂直二等分線と辺 AC との交点 P が正確に示されている。</p>
<p>2</p> <p>〔問 2〕</p> <p>配点 7 点</p>	<p>ℓ を a, b を用いた式で表すと、</p> $\ell = b \times 4 + 2 \times \frac{a}{2} \times \pi$ $= 4b + \pi a$ <p>したがって、</p> $a\ell = a \times (4b + \pi a)$ $= 4ab + \pi a^2 \dots\dots\dots (1)$ <p>S を a, b を用いた式で表すと、</p> $S = a \times b \times 4 + a \times a \times \pi$ $= 4ab + \pi a^2 \dots\dots\dots (2)$ <p>(1), (2) より、</p> $S = a\ell$	<p>○ ℓ を a, b を用いた式で適切に表している。</p> <p>○ $S = a\ell$ になることについて、推論の過程が的確に示されている。</p>
<p>4</p> <p>〔問 2〕</p> <p>①</p> <p>配点 7 点</p>	<p>$\triangle AQE$ と $\triangle PQR$ において、 仮定から、</p> $AQ = PQ \dots\dots\dots (1)$ <p>$AE \parallel RP$ より、平行線の錯角は 等しいから、</p> $\angle EAQ = \angle RPQ \dots\dots\dots (2)$ <p>対頂角は等しいから、</p> $\angle AQE = \angle PQR \dots\dots\dots (3)$ <p>(1), (2), (3) より、1 組の辺とその 両端の角がそれぞれ等しいから、</p> $\triangle AQE \equiv \triangle PQR$	<p>○正しいと認められる事柄について、根拠を明確にして記述し、仮定から結論を導く推論の過程が的確に示されている。</p>

各学校において、採点のポイントを踏まえて『部分点の基準』を作成し、『部分点の基準ごとの点数』を定めること。

なお、受検者の実態等に応じて、次の例のように詳細な基準を定めることができる。

- ・ 「○○について××が書かれている。」のように、具体的な内容を加えること。
- ・ 「○○と△△が書かれている。(3点)」「○○が書かれている。(2点)」「△△が書かれている。(1点)」のように、段階を設け、段階ごとの点数を設定すること。
- ・ 「誤字が一つ以上ある。(1点減点)」のように、部分点の基準を加えること。